

# F Mアップルウェーブ 第122回放送番組審議会

開催日時 令和2年12月15日(火) 18:00~19:00

開催場所 土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員 委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦  
委員 渋谷 拓弥、佐々木 裕和、高村 智子、石田 有希子、窪野 夏希

会社側出席者 専務取締役: 一戸 勝美、取締役: 倉田 正直  
放送部統括マネージャー: 花田 由香子

議題 (1) 番組に対する意見要望  
(2) 次回開催日について 3月27日(土)

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組  
『what's the craic』

- ① 特色のある番組。音楽に関するコメントに長けていて曲に対する話題や知識が豊富で、音楽好きにはたまらないであろう番組。パーソナリティの雰囲気か暗いと感じた。咳払いなどがそのまま放送されていたので、編集すべき。
- ② パーソナリティの二人の声がとても心地よく聴きやすい。ライブハウスでの収録ということで雰囲気が伝わって、「音楽好きな仲間たちの音楽談義」が聞こえてくるようだった。それは良い点でもあるが、初めて聴く人や音楽にさほど興味のない人は聴きにくいかも。音楽の専門的な話に関しては言葉選びもよく、わかりやすかった。
- ③ 曲紹介が楽しく、いい番組。タイトルの意味を紹介してほしい。パーソナリティの立ち位置や関係性、キャラクターを明確にしておけば良い。弘前市の音楽における貴重な存在。トークの部分がBGMなしだったが、途中BGMがあっても良かった。
- ④ 作中、作業をしながら聴いてみたがなかなか内容が入ってこず、景色が見えなかった。どういう場所で、どんな状況で話しているのか、どんな人たちなのかをもっとわかりやすく伝えるべき。リスナーは二極化しそうだが、いい番組。
- ⑤ 弘前で長年活躍してきた有能な二人が公共の電波で番組を制作し放送することは貴重で、音楽など文化の分野で活動する人たちの励みになるのではないかと。現状、リスナーが世代や活動分野が限られてしまうような雰囲気なので、幅広いリスナーにも受け入れられるような工夫がほしい。2時間は長いのでは。時間配分や構成に工夫がほしい。
- ⑥ 淡々と始まって、普通の会話を聴いているような感覚。裏話や細かい専門的な話は面白いが、他の番組を下げるような表現は控えた方が良い。
- ⑦ 声のトーンは聴き心地が良く音楽番組であることから、もっと深い時間に勉強しながら、家事をしながら聴きたい番組だと感じた。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載

議事の概要